

鎌倉・九条の会 ニュース

第12号 2012年 7月 発行

鎌倉・九条の会

TEL : 0467-24-6596

FAX : 0467-60-5410

0467-24-6577



Email : iza@kamakura9-jo.jp

HP : http://kamakura9-jo.net

福島原発事故は収束しておらず、3基の溶けた炉心の状態も不明、原因究明もできていません。日常生活を奪われた多くの避難者、子どもたちの被曝を心配する親の不安はつのるばかり。そして地震活動期の日本：：こうしたなか、野田首相は大飯原発再稼働を突破口に、原発依存体制へ再び踏み出しました。しかし、官邸前をはじめ、全国各地で反原発・脱原発の集会・デモのうねりが起きています。

鎌倉・九条の会講演会（3月9日（金）鎌倉生涯学習センターホール）での田中優さんによる「原発に頼らない社会を実現させるには」と題するお話は、会場を満席にした聴く人びと一人ひとりに、脱原発のための実践に役立つ知恵をおくる有意義なものでした。

田中優講演会（未来バンク專業組合理事長）

原発に頼らない社会を

実現させるには

ポスト3・11を生きるために

——東北関東に大震災発生、とっさに福島、女川原発が心配になったが、やはり大変なことに：：インターネットを活用して情報を徹底的に集めたという田中さんは語り始めます。

その日の夜、私は、政府が「炉心損傷開始予想が10時20分」の情報もあると発表したのを入手しました。この情報を他の人に送りたいと思ってもファイルが適さず、やきもきしているうちに、翌日、1号機建屋が水素爆発、福島原発の周囲20キロ圏が避難区域となりました。しかし、事故発生の11日夜の政府発表の時点で避難できていれば、余分に放射能被曝をせずにすんだはずでした。

また、文科省に放射能の拡散状況を予測するSPREEDというシステムがありますが、これをまったくスピーディに生かすことができません。

計画的避難区域設定に1カ月以上もかかり、放射能が大量に放出されているときに、風下にあった地域の多くの人たちに大量の被曝を強いことも解せないことです。

——この苛酷な事故は田中さんにとって意外なことではなかった。

そもそも国土が狭く、震度5以上の地震が多発する日本に原子力発電所を造るべきではないと田中さんは考え続けてきました。最初に原発が造られたとき、損保会社が保険加入を受け入れ、さらにイギリスの保険会社ロイズに保険をかけようとしたが、地震の多い日本で原発を動かすのは無理だと断られた。のちに保険金額を限定し、何と地震と津波による損害を免責するという条件で損保に加入できたという顛末を田中さんは紹介しました。

福島原発事故 放射能被曝は深刻

——田中さんは福島第一原発事故による放射能汚染かどのような障害をもたらしているかについて話していきます。

今回の福島と1986年に事故を起こしたチェルノブイリのときの放

射能汚染状況を見ると、汚染のレベルは同程度で、広がり具合が違うだけ。チェルノブイリの汚染範囲が広いのは、ウクライナにあるチェルノブイリの放射能は地続きに広がって、特に北方のベラルーシを広く汚染しました。福島の場合、放出した放射能の多くが西風によって太平洋に流れ出しました。

ベラルーシでは事故の後、白血病やがんでも子どもがたくさん亡くなり、出生率も下がり、人口減少傾向が見られました。そこで、1999年に食品の汚染制限値をより厳しくしたところ、乳幼児の死亡率も下がり、出生率も回復し、人口減少も止まっているようです。

摂取制限に関する指標として：

放射能セシウムについては、日本では飲み水や牛乳は200ベクレルまで、ベラルーシでは10ベクレルまで。野菜、穀類、肉、卵、魚は日本

では500ベクレルまで。ベラルーシでは、野菜100ベクレル、果物40ベクレル、乳幼児の食品は37ベクレルまでというようにベラルーシの基準のほうが厳しい。食べ物について、基準を厳しくすることやすべてのもの汚染度を正確に表示することを多くの人が望むのは当然ですが、いずれにせよ小さい子どもや

妊婦にとっては、できるだけ汚染されていない食品であるべきです。

——放射線被曝について、日本は非常に甘く見ているとして田中さんがつづけます。

「ただちに健康に影響の出るレベルではない」といういい方をたびたび聞かされました。大量の放射能を一度に浴びれば、白血球やリンパ球の減少、皮膚の紅斑などがただちに現れて、やがて死亡する。急性被害です。それほど大量でない被曝の影響は、数年後、数十年後に現れます。この慢性被害が恐ろしい。放射能はどんなに少量でも人間の細胞（核のなかにあるDNA）を傷つける。人間は細胞分裂を繰り返しているが、傷ついた細胞も分裂によって複製され、時間をかけて増殖し、がん細胞化する。したがって細胞分裂が活発な小さい子どもほど、低線量の放射能による被害を大きく受ける。

あとになつてがん死者が増えるといわれていますが、がん以外の病気もたくさん出ます。ベラルーシのバンドジエフスキー医師によると、体の中の放射能（セシウム）レベルが1kgあたり20ベクレルを超えると病気が多発する。10ベクレルを超えると病気が始めると公表しました。われわれが食べていいのは50

0ベクレルまでとされていますが、体の中に入ったセシウムは70日間半減するものの、日々、そうした食べ物をとっていればどんどん蓄積していったら、1kgあたり10ベクレルを早々にこえて、危ないことになります。

内部被曝の恐ろしさ

——ついで田中さんの話は「内部被曝」の問題に入ります。

低線量の放射能を外から受けると、身体を通り過ぎるときに遺伝子を壊しますが、身体のなかに残るわけではない。問題なのは、低線量であっても、放射能を身体の中に入れてしまった場合、内側から強く被曝すること、そして、その危険を抱える人が広い地域に及ぶということです。こうした内部被曝を避けるためには、身体の内側に放射能を入れないよう、吸い込む空気、食べ物、飲み物に気を配ることが重要です。

食べもの、空気の状態

——食べ物の汚染について、田中さんは調べて判明したことを話します。

事故の当初、放射能が降ってほう

れん草やキャベツなどがひどく汚染されました。しかし、あとに栽培されたこれら葉物野菜の類はほとんど大丈夫だった：：根っこから土中の放射能を集めることをしていないためでしょう。気になるのは土の中の養分を集めるレンコンなど、放射能を組織内に取り込んでしまう怖れのあるもの。

「生体濃縮」を起こすものも汚染度は高い。わずかな濃度の有害物質を微生物が食べ、その微生物を小魚が食べ、それを人間が体内に取り込む：：そのころには元の放射能レベルから数万倍も濃縮されていることがある。放射性物質を含んだ稲わらをえさにした牛の肉や乳に汚染が出たことは近頃報告されました。

特に問題なのは魚で、汚染の激しい順に川魚、海の底に棲む魚、沖を泳いでいる回遊魚。まず川は栄養が少ないので、わずかな栄養でも魚は一所懸命集めようとします。とりわけ気をつけなければならぬのはアユ。アユはコケしか食べないが、そのコケはなぜか放射能をよく集める。汚染された山から流れ出して幾筋にもなっている川に棲むアユは要注意。

次が海の底のほうの魚。放射能に汚染された水が事故原発近くの海に流され、放射性物質が底に積み重ね



られています。

そして回遊魚ですが、日本の東北海域がすべて汚染されているわけはありません。福島原発から放射能が海に流され、千島海流で押され南下し、犬吠岬の突端で黒潮にぶつかりハワイへ向かう。したがって福島沖と茨城沖は注意したい。

そして、シイタケ、ナメコといったキノコ類が放射性物質を集めやすい。また汚染された場所に生えるタケノコには特に注意したいです。手が切れるような葉っぱを持つササ、竹、イネといった植物はなぜか放射性物質を集めやすいようです。これはよく産地を選んで食べたいです。昨年秋に収穫された果物も、ナシ、りんご、栗、梅などが地域によってはひどく汚染されました。今後は大丈夫だと思えますが。

お米の汚染もいわれましたが、70%以上は胚芽に集中しているので、

白米にして食べれば7割は除去されています。このあと汚染度が上がってくるのではないかと気になっているのが、小麦粉でつくられるもの。小麦も麦芽に汚染が集まりますが、麦芽は真ん中にあるので製粉しても取り外せないのです。

内部被曝への対策

——すでに汚染されている食べ物
を身体に入れてしまっているという人もたくさんいらっしゃると思いますが、まだ対策はありますと田中さんはつづけます。

放射能の被害は確率的影響です。浴びた量に応じて、全体の中でがんになる人の数が増えるわけです。同じ量の汚染された食べ物を入れた1万人のうち死亡する人は5人とします。とすれば5人に選ばなければいいわけです。どういう人が5人に選ばれにくいのか。

まず、免疫力の高い人、きつぱり、すっきりと生きてどんな事態が起ころうとこうして解決すると前向きに考える人は免疫力が高いです。また免疫力を高めるには、抗酸化物質の多いもの、コマのセサミンや緑黄色野菜を攝ることもいいと思います。

さらに、乳酸菌発酵食品、ヨーグル

トにかぎらず、ぬか漬けなどの漬物もよろしい。麦芽飲料つまりビールとか熟成度の高いみそなどの発酵食品もいいと思います。

体の中の放射能を体外へ排出する効果のあるもの、キレート効果のあるものを攝ることもいいでしょう。

キレートというのはカニのつめのことで、排出すべきものを引っかけて外に出す効果のことをキレート効果といいます。食物繊維が代表的で、オクラやナメコといったぬるぬるした食物です。ベクチンという物質もキレート効果があり、りんごなどの果物に含まれています。

——食べ物、飲み物に気をつける
と同様に、吸い込む空気にも気をつけてほしい。人間は食べ物、飲み物の5・5倍の重さの空気を毎日吸い込んでいるとして、田中さんは話をつづけます。

ある福島の親御さんから、小学生、中学生、高校生3人のお子さんの放射線量に関するデータが私のところに送られてきました。それによると、同じ家庭に育っているのに、高校生が一番高い値を示していました。高校生は学校で一段と活発に運動して、ほとんど外気を吸い込んだからだと思います。

事故が起きて、炉内の水蒸気圧力

が高まり、格納容器破裂の怖れが生じたとき、弁を開いて放射能だらけの水蒸気を外に出しました。この時点で心配なのは放射性ヨウ素など気体状の放射性物質です。事故発生翌日から建屋の爆発がつづき、大量の放射性物質が大気中に放出され、塵や土埃にくっついてセシウムが降り注ぎ、土壌を汚染し、部屋の中まで入ってきて、隅の綿埃などに付着しました。外気に含まれる放射性物質が体内に入るのを防ぐためマスクをするよう人びとにすすめました。気体として飛んでくる放射性ヨウ素に対しては効果は限定的という医師もいますが、セシウムに対しては花粉用マスクでほぼ100%防御できるという調査結果が出ています。

放射能は多くの臓器を襲う

内部被曝による障害として、特に子どものがんや白血病がいわれられますが、他にもたくさん病気が出ます。大人では心臓が襲われます。セシウムは体の中に入ると筋肉に集中します。心臓は筋肉の塊で、内側から放射線を出して細胞を殺してしまい、不整脈を招いたり、心筋梗塞を起こしたりします。またセシウム

は女性の場合、子宮に集まります。放射能という毒物が体の中に入ったわけだから腎臓、肝臓の負担が重くなり病気になる。膀胱の病気も出、血管、血液の障害も起きます。

いまの放射能の状態なら大丈夫などと原発を存続させたい人がいるのはとんでもない過少評価です。日本は現にベラルーシと同じくらい汚染しているんです。かつての核実験で日本に降り注いだ放射能は、1平方メートル当たり2300ベクレルが最高です。今回の事故では、6万ベクレルというところが千葉県にもあります。これで今後も大丈夫だといっている人はおかしいです。のちになって子どもたちにたくさんの被害が出てしまっただけでは遅いんです。

このように危険な、とくに将来世代へ災いをもたらす原発に依存する体制からどうやって脱け出していくのか：「安全神話」をふりまく原子力ムラの構造を明らかにしながら、田中さんは、原発に頼らない社会を実現させるための道筋を具体的に示していきます。

電力は足り、 原発は要らない

「総括原価方式」とは？

国によって規制されている電気料金はどうやって決まるか？それは総括原価方式という仕組みです。

1000の電力量を作るのに10000円の費用がかかるとしたら電力会社は利益として3%、30円を上乗せした10300円の金額を、電力量の1000で割って電気の単価にする仕組みです。ですから、電力会社が「おれはもつと儲けたい」と思ったら無駄な発電所でも何でも設備をつくればいい、何の出費でも費用として加算できて、それだけ儲けが増えるのが総括原価方式です。（講師は高速増殖炉もんじゅの写真を示して）ちょうど1兆円をかけ今から17年前につくり事故を起こして止まった。その後14年間修理して再度動かしたらもつと深刻な事故を起こして止まった。なんと1ワットも発電していません。それでも、3%上乗せした1兆300億円の金額が原価に含まれ全体の電力単価が割り出された。

原子力以外の電源と比べれば、発電熱効率も発電機の価格でも大きな差があります。原子力は熱の33%しか電気に変えられない、天然ガスの発電所では60%を電気に変える（100万kW規模で原発は5000億円、天然ガスが900億円）。

それでも電力会社は原子力を選ぶ。総括原価方式の下で効率の悪い原子力が増えていった。

さらに、「電気をつくるために必要な費用」とはどういう費用なのでしょう？「原発は安全・クリーン」との広告宣伝費から原発立地自治体への寄付金その他何でも費用に乘せている。好き放題やってきた。その結果、日本の電気料金は世界一高くなった。

料金の世界比較

2000年のデータでは日本の電気料金が世界一高かったことから、資源エネルギー庁は最近になって「ヨーロッパのいくつかの国の方が日本より高い」とのデータを出してきた。いつものウソと思いついてみましたが、為替レートを考慮し、ヨーロッパでは入れている炭素税を除くと、やはり日本が高いことがわかった。これが日本の企業全体の国際競争力を失わせた原因になっている。

原発のコストこそ最も高い？

資源エネルギー庁も電気事業連合会も、原子力発電が発電源で最もコストが安い、逆に水力が最も高いといっている。だから安い原発を伸ばすとしてきた。ところがコストに関する委員会に立命館大学の大島先生が最近入って電力各社の会計報告書を調

べたら、原子力が一番高いことが分かった。しかも原発は爆発の危険があるため昼夜100%きっかりの出力で動かす。夜には電気が余ってしまつので上と下にダムを持つ揚水発電所というものをつくり夜の発電分を貯め昼間に水力発電する。その結果水力が最もコストが高くなった。それは揚水発電を乗せていたからで、揚水を除いたら水力が一番安いのです。逆に原子力が単独で最もコストが高く、揚水を乗せると更に高いものになる。

自然エネを伸ばしたドイツ

こうして日本は国際競争力を失ったが、ドイツのすごいところは自然エネルギーを伸ばしていることです。さらに、それだけでなくトータル消費量の方は伸ばさなかったので、自然エネルギーの比率も着実に高められた。日本では自然エネルギーを増やしても、限りなく電力消費を増やしてきましたから、その比率は高まりません。ところが今、日本のトータル電力消費量は下がりがつつあるのです。

日本政府と電力会社の予測は？

グラフで分かるのは2009年に日本の電気消費量がちょっと減ったこと。だけど日本政府と電力会社はその後ますます増えるという消費

量を予測していることです。さすがに消費しまくったので実際には減りはじめを示すデータは無視し、政府と電力会社は無茶なプランを思い描いているわけです。

まず節電を、原発止めるため

原発を止めて電気が不足したらどうするといわれれば、自然エネルギーに変えればいいとみないと思いますが、まずは節電して電力消費量を減らすことが賢明です。そもそも電力消費のピークは夏場の2時～3時に毎日出ているように思われがちですが、わずか1年のうち平日の10時間。しかも需要構成で見ると全体の78%が事業系であり、かつピークで見ると90%になっている事業系の消費（圧倒的に多い用途は照明）を減らすことが重要。使えば使うほど安くなる電力料金体系を、逆にすればよい。これで思いっきり下げられるでしょう。

簡単ですね。夏場平日、日中午後1時から3時にかけて気温が32度を超える日は、事業者の電気料金を高くすればよい。フランスではその料金を普段の1.1倍に高くしている等々各国にたくさん事例がある。残念ながらメディアが伝えてくれないので、われわれは騙され続けるといふ状況にある。日本は発電所をつ

くり過ぎていたので、特定時の料金を高くするだけで原子力発電を止められる。

自然エネルギーへ切り替えよう

最新データがある2009の年、欧米では自然エネルギー発電が拡大（ヨーロッパでは新設の60%）した。

日本以外の世界では決着がついていること、それは、どちらが安いのか？早く建つか？CO2少ないか？悉く自然エネルギーであり、だから自然エネルギーに切りかえている。ところが日本ではメディアが本当のことを伝えていない。

海に浮く風車で発電

ヨーロッパでは洋上風車発電はもはや主流。日本は海洋国。海は国土の1.1倍の面積を有する。広さでいえば国内で足りて世界に輸出できるほどだ。ところが日本の近海はいきなり海が深くなっている。海に浮かぶ風車による発電になる。特に風が強いのは北海道、東北、九州である。

陸上と違って妨げがない海上は風が強く吹く。発電量は風速の3乗なので海に浮く風車発電が有利だ。

風車に輪っかのついたタイプ、「風レンズ風車」というが、輪っかを付けると発電量は2、3倍になる。しかも低周波騒音は出なくなる。

地熱で発電

アイスランドは100%自然エネルギーの国であり、その主力は地熱発電です。全体の85%を地熱でつくる。さらに各家庭にお湯を配り、広大な温泉もつくりました。

地熱発電所を見きましたが、いっぱい足が付いていて「タコ、オクトパス」というんだ」といわれました。装置に日本語の片仮名でオクトパスと表記されているんです。この国の17基のうち14基が日本製であった。調べたら世界の最も優れた地熱発電装置は悉く日本製です。ですから、日本にはさぞかし地熱発電があるのだろうと聞かれますが、現状は0.6%と低い。日本は、まじめにやれば今の電気の30%を地熱だけでつくれます。

さらにコベルコという会社がバイナリー発電（別々温泉発電）をつくった。70℃の温泉があつて今は水を足して人が入っているが、70℃を50℃に下げると気化温度の低い代替フロンガスとかアンモニアを入れると、それが一斉に気化して体積が増えタービンを廻す発電機です。

それが従来の10分の1の2500万円まで価格は下がり70kWを発電するという。これをもし日本中の温泉に使つと、今の電気消費量の60%をつくる。地熱の高い温度で30%、低い温度で60%、合計90%を地熱だけでつくれてしまう。

いたる所が水力発電の適地

日本は標高差が大きい上に雨が多いため、水力発電の適地です。

市民がつくった水車で、水が落ちてゆくところに鉄板をらせん状に入れて入れるだけのものがあります。カラカラ廻って4～5メートルの長さの発電機で、4人家族、1軒分の電気をつくりまわす。市民がこういうものをつくるといいですね。

発電電分離を政府に実現させる

電力会社は自分のところ以外でつくられた電力は買いません。そして送電線は本来公共財なのにこれを独り占めに使っています。

今の民主党政権ですが、現時点で発電電の分離はやるのだ、といっているがちよつと心配です。竜頭蛇尾になりがちの与党なので市民がもっとプレッシャーをかけないといけません。いでしょう。

ヨーロッパの発送電自由化

発電も送電も自由化されたらどうなるか。先ほどヨーロッパの新設発電所の6割が自然エネルギーだといいました。理由は、市民が自分らの雇用のために自分らで発電所をつくるからです。市民がほとんどん仕事をつくっていくのです。日本とはちがいますね。

日本一高額な広告宣伝費をかける

高額な広告宣伝費、そして、その宣伝費で成り立つのがテレビ、ラジオ、新聞です。だから日本では本当の情報が流れない。何で独占企業である電力会社にこのような好き勝手させておくのか。問題に取り上げるべき。

日本の電力会社の株主上位には？

去年、世論の82%は脱原発でした。一方、同時期の東電の株主総会では原発維持推進が89%でした。では誰が株主か？調べてみると上位には「生命保険、銀行、何々信託銀行（その株主を調べるとまた銀行、信託、生命）」という全部金融機関という買い支え構造です。本来だったら極めて安い金利で借りることができるのに長期プライムレートという高い金利を金融機関に払っている。東電はもっと高い金利を払えばもっと電気料金を上げていけるといふこと

をやってきたわけですね。

加えて、ゼネコンの最大発注元が電力会社です。電力会社と持ちつ持たれつこれら企業は政治家らには多量の票が見込める相手。ばかげていませんか？こんな構造を変えるために、ささやかでもたとえば預金を預け替えしましょう。自分に投資しましょう。

脱原発に向け運動を

206年前からやってきたが
威張れません

なぜなら、われわれが運動に成功していたら今回の事故は起こらなかったと思うから。何を失敗したのか？問題は3点あると思う。

1つ目、危機感をあまり過ぎたこと。危機感は長持ちしません。
2つ目、とにかくリアリティーを伝えることが大事。

3つ目、26年前お金をつくる構造に気づいていなかった。金の流れを変えなければ原発は止まらない。

節電に忍耐は要らない

世界の家庭の中で一番省エネしているのはわれわれ日本の家庭です。その上で電力の利用の中身を見ると、3分の1が電気器具、3分の1がお湯、3分の1が暖房で、3分の2ま

でが熱です。ならばペレットストーブ、まきボイラーを入れれば燃料が木屑でいい。日本は国土の68%が森、伐採期を迎えた森がいくらでもある。

そして電気器具。皆さんの家庭の中にも必ず四天王がいて、電力消費の半分を占める。冷蔵庫、照明、テレビ、エアコンの順。これらはすべて、この10年の間に省エネ率が50%以上、最大は冷蔵庫で90%です。ならば買い替えの省エネ投資も有効です。

性能向上する太陽光発電

家電製品を省エネのものに買い替えて、半分に減ったあとを太陽光発電で賄うと、2kWで足りるでしょう。それに必要な屋根の広さは8畳間1つ分です。太陽光発電コスト19円の時代がついにきています。

原発やめてスマートグリッド導入を

各戸の自給に加え本当は地域での自給が望まれる。スマートグリッドといい、導入は世界最大投資額です。必要な技術は5つ、省エネ製品、バッテリー、電気自動車、自然エネルギー、IT技術。その全てで日本企業は国際競争力を持ってきた。これを生かせば原発災害をターニングポイントにできるだろう。

スマートグリッドを入れて地域で

エネルギーを自給したら、地域が活性化します。国内が自給エネルギーを廻すようにしたら国内が活性化します。

エネルギーの自給率はわずか6%
自給率の低いものは決して経済を活性化し得ない。食糧自給率低いです。木材自給率はもっと低いです。でも、日本で一番低いのはエネルギー自給率で、わずか6%しか自給していない。石油、天然ガス、ウラン、石炭、この4つの輸入のために23兆円も使う。結果、日本は2011年に貿易が赤字になった。相前後してIMFは日本にレポートを書いた。「日本の経済はもはや持続可能ではない」と。これから没落するといふふうに書かれているわけです。

国民が皆勤勉で、技術がある、条件が整っている国が、なぜ没落しなれてはいけないのですか？それは政策が間違っているからです。

将来の子どもたちに

要は、これまでどうしてこんな発想しかして来なかったかということ、新しい別の可能性に気付いていなかったということだと思ふ。

われわれの未来には、もう一つの未来がある。自然エネルギーになっていたならば原子力はない。なおかつ地球温暖化が解決している。世界

の石油戦争がなくなつて相当平和な社会になる。そして将来の子どもたちにとって、恐らくとてもいい社会を届けることができる。

私たちが常に可能性を知つて自覚的に動くこと、その可能性を見ながら社会を切り替えていくことができれば、私たちの未来は決して暗いものにならないと思います。

2050年の未来の子どもたちに

小出裕章さん講演会ーニコノハマ

「子どもたちを放射能から守るために！」

～原発事故から考える、

いま私たちがやらねばならないこと～

報告

2012年5月26日(土)

横浜神奈川芸術劇場

小出裕章さん(京都大学原子炉実

験所助教)の講演会は会場いっぱい

のなかで開催され、前半は実行委員

を勤めた明治大学学生の挨拶や学生

制作ビデオ、さらに原発に積極的

な活動をする山本太郎さんのビデオ

メッセージや松田美由紀さんの話が

ありました。その後、原子力科学者

小出さんのデータに基づく簡潔でわ

かりやすい説明と松田さんとの対話

等もありました。閉会まで3時間半

どうしてもいわれたい言葉がある。

「こんな素敵な社会になつてくれた

のは、2011年3月11日が社会

のターニングポイントになつてい

んだね。」というふうにいわれたい

のです。

*講演の要約・文章化の責任は

謙言・九条の会にあります。

年以上一貫して原発の危険性を訴え

てこられた情熱が言葉の端はしに現

れ、さらにスクリーンに表示される

丁寧で簡潔なデータやレジユメ等も

理解しやすいものでした。

講演はまずキュリー夫妻の放射線

発見後の被曝の歴史から始まった。

被曝の被害について、DNAを含め

分子結合を切断・破壊する現象は被

曝量の多少に関係なく起こること。

多量被曝では細胞が死に組織の機能

が奪われてほぼ100%死ぬ急性障

害の怖さ。さらにしきい値(症状の

出る最低被曝量)以下の少量被曝で

あつても、分子結合がダメージを受

けることや、がんや白血病になる確

立が高くなることは避けられないと

いうことなどが様々なデータを基に

説得力がありました。

今日の標準的な原子力発電所(1

00万kw)は毎日3kgのウランを

核分裂させて電気に変換できるのは

その3分の1だけで2kgは利用でき

ずに廃棄する。ちなみに広島原爆で

核分裂したウランの量は800gだ

から、ただ1基の原発で毎日広島原

爆4発分のウランを使用し、その廃

棄燃料はほとんど死の灰になる。原

発が1基だけ1年間運転すれば広島

原爆がばらまいた死の灰の1000

発分を超える死の灰を生み出す!

しかしすでに起きてしまった福島

事故について、これを阻止できなかつ

た大人には全責任何らかの責任がある。

小出さん自身もこれまで一貫して原

発事故への警鐘をならしてきたが力

及ばなかったことを詫言しました。だ

が子どもたちは放射線被曝リスクが

大人に比べて桁違いに高く、彼等

は何の責任もなかったのであるから、

子どもたちをこれ以上被曝させては

絶対にならない!

そして子どもたちには絶対安全な

食品を与えなければならぬ。同時

に福島近郊、そして日本の第一次産

業を壊滅させるわけにはいかない。

ならば50、60才以上の大人たち

はあまり神経質に食品を選んではい

けない。多少の汚染食品は、10禁

から60禁といった分類をして、子

どもや若者を放射能被害から守つて

いこう。そしてこれを機会にわれわ

れの大量消費社会を反省しよう!原

発はいらない!原発を全部やめても

停電しない、させない!と最後まで

熱く語りました。

小出裕章さん関連書籍

「原発はいらない」 幻冬舎

「騙されたあなたにも責任がある

脱原発の真実」 幻冬舎

「小出裕章 原発と憲法9条」

遊絲社

5月の9の日行動

原発再稼動について シール投票を行う

5月の9の日行動は毎年憲法記念日の3日に行っています。5日のこどもの日に北海道泊原発が定期点検のため止まると予定され、この日で日本にある原発が全て止まった2日前のことでした。

前日の夜からの大雨が収まらず、あいにくの天気、果たして実施できるか危ぶむ声もあったほどでしたが、地下道で行いました。人通りはいつもより少なく、傘を持っていると投票するのたいていへんでしたが、225の方が投票してくださいました。

結果は以下の通りです。

原発再稼動に

賛成	7人	3.1%
反対	206人	91.5%
どちらともいえない	わからぬ	
	12人	5.3%

このように大多数の市民が再稼動に反対しているのに、国民の声を無視してついに政府は大飯原発を再稼動させてしまいました。事故の原因も解明されず、原発の状態も把握できず、放射性廃棄物の処理は出来ないというのに、地震の多い日本にこのような破滅的な事故の後になっても原発を動かすのは、国民の声には耳を傾けず、原子カムラにのみ顔を向けている証拠といえます。毎金曜日の官邸周辺の集会や7月16日の代々木公園の集会に続き、再稼動を止めさせるまで声を上げ、行動していきましょう。



(投票結果は18日から20日まで鎌倉生涯学習センターで行われたNPOフェスティバルに、この結果を掲示し、投票をお願いしたところ30人以上の方が協力してくださいました。その人数も含まれます。)

お知らせ

☆第2回鎌倉憲法学校

現代日本の社会と憲法
～人間の尊厳にふさわしい生活を営むために～

10月13日(土) 10時～16時
鎌倉商工会議所・地下ホール 500円
申込みは8月13日(月)より

講師；渡辺 治さん
(九条の会事務局次長・一橋大学名誉教授)

- 〔第1講〕10:00～12:30
◆マスメディアと表現の自由
～いま、マスコミはどうなっているのか～
- 〔第2講〕13:30～16:00
◆現代の憲法改正案を読む
～いま、なぜ改憲か～
(第1・2講とも質疑応答・まとめの時間を含みます)

☆毎月の9の日行動

鎌倉九条の会は毎月9日に鎌倉駅東口でリーフを配っています。短時間でも一緒に！
毎月9日 平日 15時～
土・日・祝日 11時～
小町通・鳥居前、九条の会・旗の前に集合
(雨天の場合は 地下道)

☆九条の会講演会

主催；九条の会

9月29日(土) 13時～
会場；東京日比谷公会堂
講師；大江健三郎、奥平康弘、澤地久枝
詳しくは、九条の会ホームページを！

賛同者の皆さまへ

住所・氏名に変更がありましたら、ご連絡ください。

